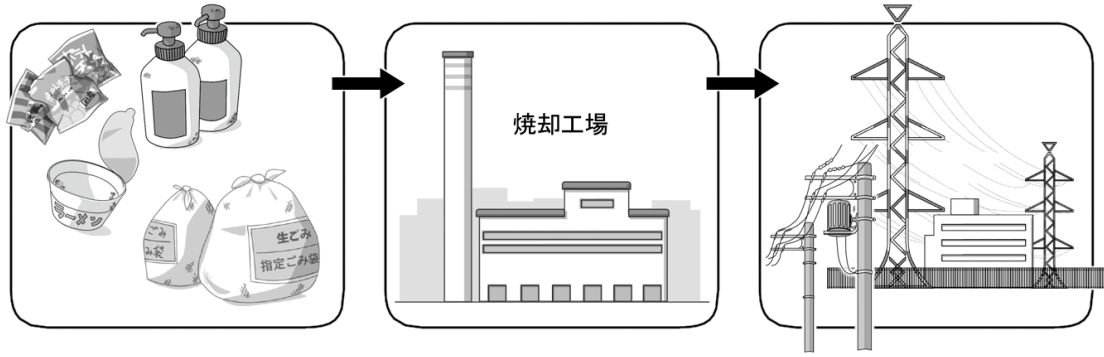
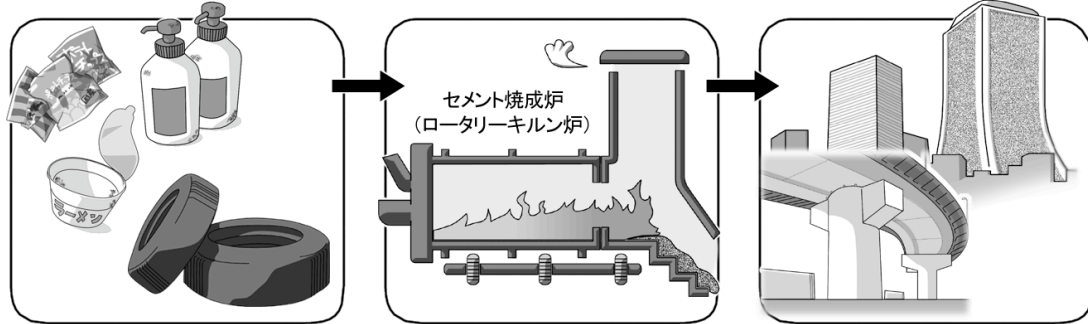


サーマルリサイクル

サーマルリサイクルは使用済みプラスチックから熱エネルギーを回収する方法で、さまざまな方法があります。下のイラストは、代表的なサーマルリサイクルの手法を描いたものです。どのようなリサイクルシステムなのか、右の説明文とイラストをつなげて説明してください。

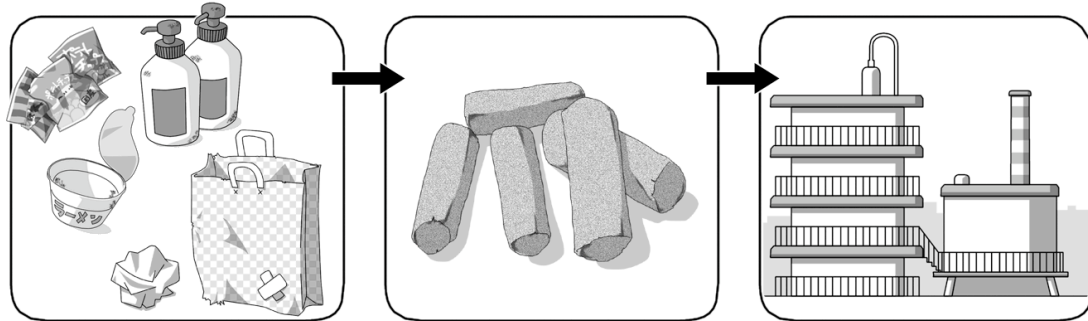


分別がしにくい(マテリアルリサイクルがしにくい)使用済みプラスチック・紙類・木くずを原料に用い、**固形燃料**を作り、石油や石炭の代わりに使うリサイクル。RPF(Refuse Paper & Plastic Fuel = プラスチックや紙の廃棄物で作った燃料)と呼ばれ、製紙工場などで使われている。家庭から出るごみを主原料とした固形燃料は RDF (Refuse Derived Fuel = ごみで作られた燃料) と呼ばれている。



分別がしにくい使用済みプラスチックや紙・衣類・生ごみなどの廃棄物を焼却し、その熱で蒸気を起こし、蒸気でタービン(※)を回し、**発電**を行うリサイクル。

※水、ガス、蒸気などを羽根車に吹きつけて、その回転軸を回転させ機械的エネルギーを得る原動機



分別しにくい使用済みプラスチックをはじめ、さまざまな廃棄物(廃タイヤ、スラグなど)をセメント焼成炉に入れ、プラスチックやタイヤなど可燃性ものは**焼成用の燃料**として利用し、燃えかすをセメントの原料として利用するリサイクル。

年	組	名前
---	---	----